

多摩川に
さらす手作り
さらさらに
なにそこの児の
ここだかなしき

【現代語訳】

多摩川の水にさらして作る布のように、
さらにさらにこの子が愛おしく思える
のはなぜなんだろう。

◎小池邦夫も狛江市について語る際にこの歌
をたびたび紹介し、絵手紙にもかきました。

絵手紙を未来に繋ぐために

【日本絵手紙協会よりご寄付のお願い】

おかげさまで日本絵手紙協会は創立40周年を迎えることができました。
この節目の年を皆さまとともに迎えられたことを心より嬉しく思います。
創立以来、全国のたくさんのかたがたにお力添えをいただき、絵手紙の
普及活動を続けてまいりました。小池邦夫の「絵手紙を100年残したい」と
いう思いをこれからも末永く継承していくために、このたびご寄付を募る
ことにいたしました。
絵手紙を次世代へ繋いでいくために、1人でも多くのかたにご賛同・ご支
援いただければ幸いです。今月号に詳細のチラシを同封しておりますの
で、どうぞご覧ください。

一般社団法人 日本絵手紙協会



もくじ

月刊絵手紙2025年10月号

巻頭	古拙微笑	46
01	展覧会をみる	44
02	ことばの旅	26
04	登坂和雄の一語一絵〈魁〉	25
06	特集 布と絵手紙	24
20	柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎	22
22	手紙のヒント 中川 越	20
24	山田喜代春の詩画世界	24
25	木もれ日「絵手紙と歩んだ道」 谷 雅子	26
26	読者投稿ひろば	25
27	テーマ「コレが一番大事!」	26
28	ステキな展覧会に行ってきました／自由絵手紙／	27
29	なんでも100字／活動報告	28
30	essay アーサー・ピナード	29
31	誌上レッスン 絵手紙教室	30
32	◎小池邦夫の絵手紙教室	31
33	「お一人様」	32
34	◎兼岩幸恵の小さくても一歩	33
35	繋ぐもの	34

60 59 58

58	◎阿部祥子のどんどん動いて どんどんかいて どんどん字ぼう 「一閑張り」を楽しむ
59	◎通ったのしみ、学ぶワクワク! 「絵手紙教室 講評拝見」 節氣を感じて「実りある暮らし」 展覧会のご案内
60	◎日本絵手紙協会からのお知らせ SDGs できることから始めよう! 〈受講生募集〉講座のご案内 あなたの街の絵手紙情報〈展・体験〉 投稿の募集要項 小池邦夫絵手紙美術館ニュース 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより 日本絵手紙協会・推薦教材 ボランティア部からのお知らせ 日本絵手紙協会へのアクセス 「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記 『月刊絵手紙』定期購読のご案内 ご注文方法

新刊本

小池邦夫講演録
『自分を研ぐ』

40周年記念の
刊行物・グッズのお知らせは
56-57、79頁をご覧ください



特集

布と絵手紙

お互いが奏で合う

今年の4月号から、『月刊絵手紙』の表紙は布と絵手紙が共演しています。それは日本の古布や、インドの布のほか、どこから来たのか分からないものも。小池邦夫の絵手紙と取り合わせた布を見ていると、ふと何か感じるものはありませんか？ それは小池邦夫が伝えてきた目習いの成果のひとつかもしれません。

お気に入りの絵手紙を布と一緒に飾ってみると、お互いが奏で合い、思いがけない気づきをもたらることがあります。絵手紙にも布にも、その向こうには人がいて、道具や糸は動物や草木の生命から成っています。ものの向こうにあるものを感じる心を、今月も養ってみてください。





新井晶子(香川)
まっ赤な夕焼けも楽しみの一つ。

読者投稿

かいて、送って、みんなでおしゃべり



ひろば

今月は特集に併せて
布との共演!

テーマ「コレが一番大事！」

毎日をよりよく生きるための、みなさんの大事なものが大集合!

- ・ステキな展覧会に行ってきました
- ・自由絵手紙
- ・なんでも100字
- ・活動報告



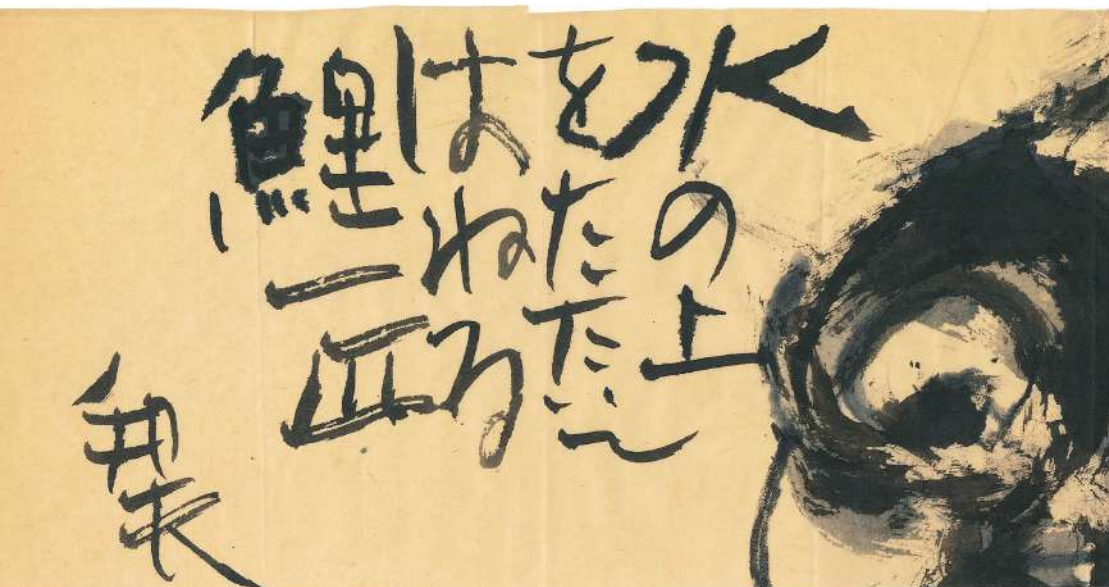
植村かよ子(北海道)
「絵手紙をもらって元気になる」と言われ、嬉しくなる。人との繋がりを大切に、かき続けていきたい。



松田谷美和(広島)
毎日の食事作りは面倒だと思ってもありますが、家庭の味が一番ですよね。



板東スエコ(東京)
誰かのために何かすること、コレが私の元気の素。



じっとしてられぬ

水の上をたたいてはねる 鯉一匹

こいけ・くにお

絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいい ヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいい ヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう